

唐津の祭り②広瀬浮立（ひろせふりゅう）

～県内唯一の武士浮立～

毎年、八幡神社例祭の9月15日と、宮地嶽神社例祭の9月22日の2回、天山神社の境内で奉納される。出演者は笛4名・大太鼓1名・締太鼓1名・大銅1名・鼓4名・鉦8名・謡1名である。

広瀬浮立では、全員が和服を着用するが、鉦打・謡役以外の出演者は水色の袴を着用し、その衣裳は県下で特異なものである。

曲目は一つ打ち・道行・裏返し・早道行・鳥居がかり・ふきつけ・かたん・そうけつくり・おかざきなどである。

一の鳥居・二の鳥居・三の鳥居と道行を奏しながら進み、なかでも、打ち出しと三の鳥居で奏する一つ打ちは、1拍子で打ちこむテンポの早い囃子である。また、一の鳥居で奏する裏返し、二の鳥居での鳥居がかりなど鳥居ごとに停止して節度をつける。三の鳥居後に行うねじり囃子は、足袋はだしになった鼓4名が、ふきつけの曲により鼓を左右に大きくふり、足の動きとともに力強く律動的な折り目正しい所作を繰り返す。

県内浮立の多くが複合芸能の形を取っているのに対し、この浮立は、厳かな武家風の厳粛な神事芸能としての形態を伝承している。

現在使用してる道具のうち、締太鼓に安政5年（1858）鉦に文久元年（1861）の銘を有しているものがあり、遅くとも江戸後期には現在のような形を整えていたと思われる。

県重要無形民俗文化財

昭和48年4月23日指定

唐津市巖木町大字広瀬 天山神社

無形民俗文化財

分野 文化

地域 巖木

◎地図・写真・統計資料など



広瀬浮立

（『佐賀県の文化財』より）



広瀬浮立（太鼓）

（唐津市フォトライブラリーより）

◎引用・参考文献（出典）

- ◆佐賀県庁HP 県指定（民俗文化財の部）より
- ◆『巖木町史上巻』（平成19年発行）
- ◆佐賀新聞（2010年9月14日）

◎エピソード・伝承・うんちく など

■ドジョウ汁

道行前に食べるもの：ドジョウ汁
ドジョウが取れなくなり途絶えていたが、養殖に成功し約20年ぶりに伝統の味が復活。（2010年9月）

■大太鼓のバチ

通常大太鼓のバチは40cm以上の長さがあるが、広瀬浮立のバチは19cm程と短い。

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html